

単元名 漢字の広場2

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 第2学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うことができる。
 (2) 間違いを正したり，相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして，文や文章を整えることができる。
 (3) 第2学年までに学習した漢字を確認め，漢字を適切に使った文を作ろうとする。

標準的な展開例

03010110_001

【教材名】2年生で習った漢字2 (上 P.46)

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1～2 掲示された漢字を使い，男の子が宝物を探す冒険をする話を考える。 ★絵の中の言葉を使って，宝物を探しに出かけたお話を作ろう。 ○宝物を探しに出かけた男の子の話を簡単に考える。 ○提示されている漢字の読み方，書き方を確認する。 ○「そこで」「けれども」などの接続詞の使い方を確認する。 ○提示されている漢字を使って，文を書く。</p> <p>○書いた文を友達と読み合い，交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書(P.46)から，登場人物や人物の行動を確認し，物語のあらすじを想像させる。 【評】学習した漢字を確認める活動を通して，「知識・技能」を評価する。 ・〈れい〉を使い，接続詞の使い方をつかませる。 ・最初から書かせるのは難しい児童に対しては書こうとするお話を声に出させてから，文章を書くようにさせる。 【評】提示された漢字を使って文を書く活動を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・自分で読んだり，友達に読んでもらったりして，文と文のつながりが間違っているところを書き直させる。 【評】書いた文を読み，文を正しく直す活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】